

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
恩納村	谷茶地区	2021年3月22日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	3.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	2.3ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	1.6ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.5ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	ha
(備考)	

2 対象地区の課題

谷茶地区は75歳以上の農業者の耕作面積が地区全体の耕地面積の約半数を占めている。また後継者が不明な農地が1.5haと後継者も不足している。またアンケートでは「地域の農業を支える安定した担い手がない」という回答も多かった。高齢化や後継者不足、安定した担い手の確保が課題として挙げられる。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農業者の高齢化や後継者不足等により、5年後には地区内の多くの農地で耕作不能が見込まれる。そのため、これらの農地は規模拡大の意向のある地区内外の担い手へ農地の集積を促進する。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

①農地の貸付け等の意向 貸付意向の農地を規模拡大の意向のある地区内外の担い手へ積極的に農地の貸し付けを行う。
②後継者の確保 将来的な視点で後継者の確保が不透明な状況である農地が見受けられるため、後継者の確保へ向けた取組を行う必要がある。新規に就農を希望する者を積極的に受け入れ、若い世代への営農指導や農業の魅力をアピールする機会を設け、後継者の育成を図り、後継者の確保を目指す。
③基盤整備への取組方針 5年後を見据え、農業所得向上を目指し、担い手にとっての農業収入安定化や高収益作物等の生産への取組やかん水施設整備等の基盤整備への取組を促進し、農業を支える安定した担い手を確保する。